

高齢者活動センター建設計画

2002年10月7日(月)在サン・パウロ日本国総領事館小ホールにおいて、サンパウロ州レジストロ市との間で草の根無償資金協力に関する贈与契約署名式が開催されました。本件協力は、サンパウロ州レジストロ市が高齢者対応事業を総合的に取り組むための拠点となる「高齢者活動センター」を建設する計画に対して行われたものです。

当日は、ジョーゴ野村元連邦下議、マノエル近岡市議、共同実施団体である「レジストロ日伯文化協会」から山村敏明会長他レジストロ市及び文協関係者他総勢約20名が見守る中、レジストロ市サムエル・モレイラ・ダ・シルバ・ジュニオール市長と赤阪清隆総領事との間で契約書の署名が取り交わされました。

○上記案件のプロフィール

案件名：「高齢者活動センター建設計画」

被供与団体：サンパウロ州レジストロ市

契約署名日：2002年10月7日

供与限度額：US\$46,081

案件概要：本件協力は、これまで同市において実施されてきた高齢者を対象とした職業訓練、健康増進プログラム等の取組みを拡充すると共に、医師による健康相談、講演会、栄養指導、保健チームによる高齢者世帯訪問、高齢者を持つ家族への指導等、同市が高齢者対応事業を総合的に取り組むための拠点となる「高齢者活動センター」を建設する計画に対して行われます。

また、本件計画は、レジストロ市と地元で日系社会の活動の中心となっている「レジストロ日伯文化協会」が共同して実施するプログラムでもあり、新たに導入される活動の一部に同協会の「敬老会」活動のメニューも導入され、日本とブラジルのコミュニティー・レベルでの交流という効果も期待されます。



署名式の様子左：サンドラ・レジーナ・モレイラ・ダ・シルバ・レジストロ市長夫人、中央：モレイラ・ダ・シルバ・Jr・レジストロ市長、右：赤阪在サン・パウロ総領事



署名後、契約文書を交換する総領事と市長